

## K. CATワークショップ

# 金沢版コンパクトシティのすすめ

～30年後の金沢を見据えて～

□日時：2015年1月10日（土）13：00～16：50（12：30～受付開始） ※12時から会場設営

□会場：近江町交流プラザ（近江町いちば館4階 集会室）

□定員：50名程度（30年後を担う若手の方大歓迎！事前申込）

□主催：K. CAT（金沢の都市と交通を考える会）

### □開催主旨：

金沢市の総人口は、今後30年間で約1割減少し、少子高齢化が進むと予測されている。また、中心市街地の人口密度は、この20年間で約2割減少しており、低密度化が進み魅力や活力が低下している。

一方、郊外市街地においても少子高齢化が進み、空き家や空地が増加している。都市経営の観点からも、公共施設等の維持管理費が増大すると考えられる。

こうした社会背景を踏まえ、金沢版コンパクトシティを目指すべきと考える。

K. CATでは、そのタタキ台を検討してきたので、市民や学生の皆さんと共に30年後の金沢を考えたい。

### □プログラム

13：00 開会・挨拶・主旨説明（10分）

13：10 「金沢版コンパクトシティのすすめ」の説明（20分）

13：30 ワークショップ（1時間40分）

15：10 休憩

15：20 各グループ発表・投票（1時間20分）

16：40 コメント、総括

16：50 閉会

### □説明者

・挨拶・主旨説明：高山純一氏（K. CAT代表、金沢大学教授）

・金沢版コンパクトシティのすすめの説明：

埴 正浩氏（K. CATメンバー、㈱日本海コンサルタント 専務取締役）

木谷弘司氏（K. CATメンバー、金沢市都市整備局 都市計画課長）

坂本英之氏（K. CATメンバー、金沢美術工芸大学 教授）

塩土圭介氏（K. CATメンバー、㈱日本海コンサルタント 担当G長）

・司 会：萩原扶未子氏（K. CATメンバー、㈱ジー・アンド・エス 代表取締役社長）

### □ワークショップのグループ分け（○印は、各グループの進行役）

土地利用：○木谷氏、○片岸氏、鈴見氏、谷内上氏

交 通：○北原氏、○塩土氏、西村氏、辻氏、糠山氏、土倉氏

景 観：○坂本氏、○埴氏、北出氏、大家氏、笹谷氏

## □ワークショップの進め方

## 【グループ分けについて】

- ・土地利用A・B、交通A・B、景観A・Bの3分野×2グループ、各グループ8名程度。
- ・各グループには、参加者の希望を踏まえつつ、一般市民、学生、若手行政マン、若手コンサルタント、K. CATメンバーを配置する。
- ・K. CATメンバーは、各グループに2名ずつ参加し、進行役（モデレーター）を務める。

## 【ワークショップの進め方について】

- ・発表者、書記など、役割分担を決めて、K. CATメンバーが効率的に進行する。
- ・時間は、100分。とりまとめの時間を考えて進行する。
  - ①「金沢版コンパクトシティのすすめ」の内容について、意見交換
  - ②「金沢版コンパクトシティのすすめ」への新たな視点や切り口のご提案、タタキ台の改善案を議論
  - ③グループ内の意見をまとめる
    - ・A0サイズの模造紙（各グループ1枚）で議論をまとめる。
    - ・A0サイズの図面（白図）（各グループ1枚）でゾーニングや動線等を表現する。

## 【発表について】

- ・各グループ10分とし、発表7分、質疑応答3分程度とする。

## 【投票の方法について】

- ・発表した内容が一番良かったグループに、参加者1名・1票で投票する。但し、所属したグループ以外に投票することを原則とする。
- ・投票の仕方は、各グループの発表した模造紙に丸いシールを貼るものとする。
- ・最も評価の高かったグループには、高山先生からプレゼントを渡す。  
（例えば、評価の最も高いグループ全員（500円/人×8人＝4000円）、また、それ以外の参加者全員（100円×42人＝4200円）にも何か頂けると幸いです。）

## 【コメント・総括について】

- ・各グループの発表内容や参加者の投票結果を受けて、盛谷参事からコメントをいただく。
- ・最後に、高山先生が総括。
- ・ワークショップを踏まえて、「金沢版コンパクトシティのすすめ」をブラッシュアップして公表する。